



東海技物第 02710158-002 号

平成 14 年 5 月 23 日



報 告 書

新日本製鐵 株式会社 名古屋製鐵所 様

計量証明事業 愛知県知事登録第262号

名古屋市名東区猪子石二丁目710番地

〒465-0021 TEL(052)771-5161(代)

財団法人 東海技術センター

理事長 小川 進



貴依頼による骨材の試験結果を別紙のとおり報告します。

受付月日	平成 14 年 5 月 13 日
骨材名称	コンクリート用高炉スラグ細骨材 BFS 1.2
試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)



採取場所 新日本製鐵 株式会社 名古屋製鐵所
 採取者名 栄藤昭彦
 採取年月日 平成 14年 5月 11日
 骨材名称 コンクリート用高炉スラグ細骨材 BFS 1.2
 試験実施日 平成 14年 5月 21日 ~ 5月 22日
 試験方法 J I S A 1 1 4 5
 1. アルカリ濃度減少量(Rc) : 塩酸(HCl)滴定法
 2. 溶解シリカ量(Sc) : 原子吸光光度法

試験結果

試料量 : 25.00 (g) 反応条件 : 80°C 24時間

繰返し	アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)			溶解シリカ量 Sc (mmol/L)		
	V ₁ (ml)	V ₂ (ml)	Rc	n	A (mg/L)	Sc
1	20	19.55	18	1	0.4	0
2	20	19.48	21	1	0.8	1
3	20	19.58	16	1	0.4	0
平均値	—	—	18	—	—	0

V₃ (ml) : 19.90

F : 1.002

$$* Rc = (20 \times 0.05 \times F) \times (V_3 - V_2) \div V_1 \times 1000$$

ここに V₁ : 分取量

V₂ : 滴定量 (0.05mol/L塩酸)

V₃ : 空試験量 (0.05mol/L塩酸)

F : 0.05mol/L 塩酸ファクター

$$* Sc = 20 \times n \times A \div 28.09$$

ここに n : 希釈倍率

A : シリカ濃度 (Si mg/L)

アルカリシリカ反応性の判定	無 害
---------------	-----

—判定基準—

無 害 : 下記以外の場合は、無害と判定する。

無害でない : Sc ≥ 10mmol/LかつRc < 700mmol/Lの時

Sc ≥ Rcとなる場合は、無害でない。